

令和2年度当初予算

創意工夫で解決し、
 一步一步、前へ前へ、確実に！

一般会計予算額 288億円

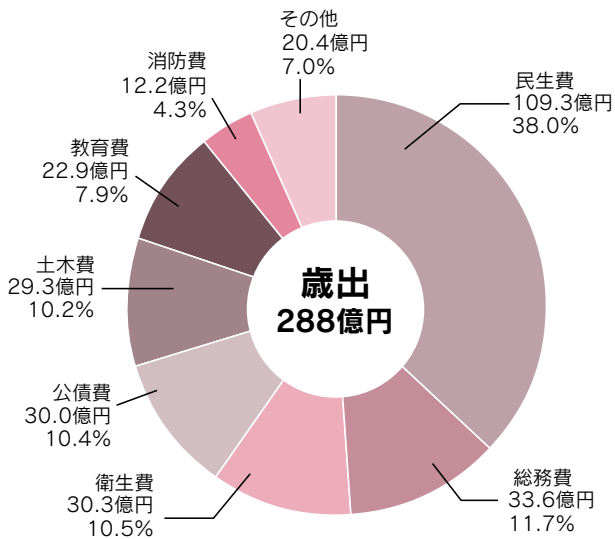
(前年度比+2.9%)

令和2年度予算が、市議会3月定例会で可決されました。

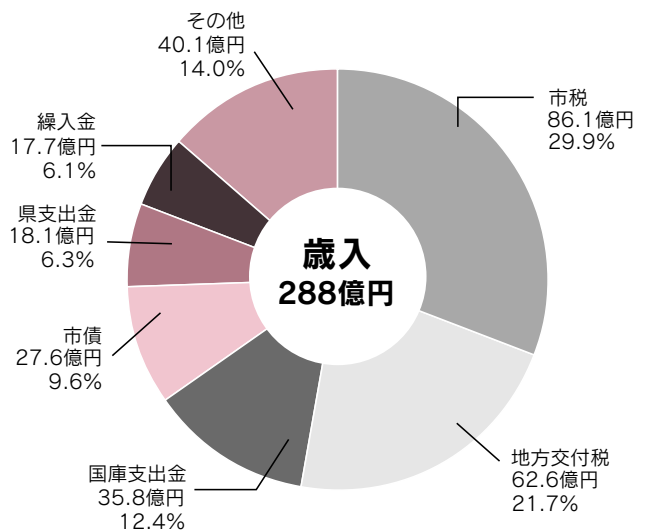
幼児教育無償化や水道事業出資金の増加などにより、令和2年度予算は前年度と比べ規模が拡大しました。継続事業として、旧秩父セメント第一プラント跡地を中心とした道路網整備や森林環境譲与税運用事業のほか、新たな事業として、医療体制の整備推進に向けた事業や再生可能エネルギー推進事業など、日本一幸せな秩父市を実現するための事業を盛り込みました。

創意工夫を凝らして、満足度の高い市民サービスの提供を進めていきます。

一般会計の歳出



一般会計の歳入



一般会計予算の概要

【歳入の概要】

市にとって重要な収入である地方交付税は、合併特例措置の縮減が行われていますが、国が示した地方財政対策の内容などを踏まえ、増収を見込んでいます。

また、消費税率引上げの影響により、歳入全体として増収を見込みました。

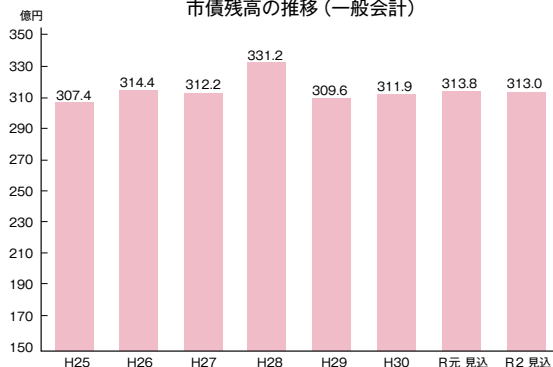
【歳出の概要】

民生費には、子育て環境の整備を図るため、市内の保育園の整備に対する補助金などを盛り込みました。総務費には、秩父市への移住希望者等へ向けたイベント開催や広報資料の作成にかかる経費などを計上しました。衛生費には、医療体制の整備推進に向けた看護学生奨学金貸付事業を、土木費には、中心市街地の幹線道路網の整備事業などを計上しました。

【市債残高の状況】

令和2年度末の市債残高は、約313億円となり、大規模事業の完了などの要因で、令和元年度末と比べて約1億円の減少となる見込みです。また、令和3年度以降も基金の活用などにより市債の抑制を進め、残高は減少する見込みです。

市債残高の推移 (一般会計)



【用語解説】

地方交付税…全国で同水準の行政を行うために交付される財源

市債…市の借入金

民生費…児童、高齢者、障がい者福祉のための経費や生活保護の経費

総務費…市の計画の策定や推進、内部管理、選挙等にかかる経費

衛生費…市民の健康づくり、環境保全のための経費

公債費…借入金の返済

土木費…道路、河川、公園などの建設や維持管理にかかる経費

令和2年度 注目の事業

医療環境の改善

- 看護学生奨学金貸付事業【新】
〔120万円〕
市立病院の看護師を確保するため、市立病院の看護師を目指す秩父看護専門学校看護学生に対し、卒業までの3年間、修学に必要な資金（年60万円）を貸し付け、貸付期間の2倍相当期間を市立病院の常勤看護師として業務に従事した場合は償還を免除する制度を創設します。

インフラの整備

- 市道幹線3号線改築事業
〔3,400万円〕
長年の懸案事項であった、滝の上町地内の視目坂下交差点南側の歩道を整備します。
- お花畑通線街路整備事業
〔6,000万円〕
中町地内、「秩父地方庁舎（北）入口交差点」から地方庁舎に向かう未整備区間の道路拡幅工事に伴い、電線地中化による埋設管路などを整備します。
- 市道幹線51号線改築事業
〔1億3,400万円〕
国道140号から札所13番交差点信号までの未改良部や歩車道の舗装整備を行います。

子育て・教育の充実

- 民間保育園整備補助事業
〔1億3,989万円〕
国の補助金を活用し、私立の保育園整備に対する補助金を交付し、子育て環境の充実を図ります。
- 児童生徒1人1台端末整備事業【拡充】
〔1,146万円〕
小中学生へのICT教育推進のため、国が進める「GIGAスクール構想」に基づく補助金を活用し、1人1台のタブレット端末を整備します。
- 小中学校校舎大規模改修事業【新】
〔2,918万円〕
学校施設長寿命化計画に基づいて、荒川西小学校および影森中学校校舎について、大規模改修工事にかかる実施設計を行い、安全・安心な学校環境の整備を図ります。



大規模改修が行われる影森中学校校舎

地域の活性化

- 再生可能エネルギー推進事業【新】
〔335万円〕
秩父新電力(株)との連携事業として、再生可能エネルギーの電源開発等の検討や、本庁舎などへCO₂排出ゼロのゼロカーボン電力の供給を開始します。
- ドローン活用推進事業【新】
〔666万円〕
専門的な知見を有する民間事業者から派遣職員を受け入れ、ドローンを活用した先端産業の育成等の推進を図ります。
- 移住推進イベント企画運営事業【新】
〔394万円〕
移住希望者・既移住者等を「ファンクラブ」に取り込むことにより、人の力を活用した移住推進事業を行うとともにイベント開催などを通じて秩父市への移住をPRします。

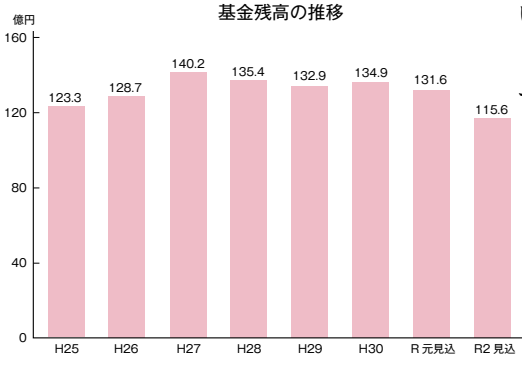
自然を活かす

- 森林環境譲与税運用事業【新】
〔2,824万円〕
森林経営管理制度に基づき、手入れの遅れた私有林の集約化と整備を進めるとともに、防災の観点も踏まえ、健全な森林の育成、民有林施業への支援を行い、林業の振興を図ります。

【基金残高の状況】

一般家庭での貯金にあたるのが「基金」です。市では、計画的に基金への積立てを行い、財源を必要とするときに取り崩しを行っています。平成29年度では市債償還の財源として取り崩したため残高は減少しましたが、平成30年度末にはふるさと納税寄附金の基金への積立てなどにより増加しました。令和元年度には市債償還の財源として取り崩したため残高は減少しましたが、市民一人当たりの基金残高は、県内の他市町村と比較して高いレベルにあります。今後市債と基金のバランスに配慮しながら、基金の使い道を決めていきます。

基金残高の推移



※特別会計、企業会計の予算の概要は市のHPでご覧いただけます。

問 財政課 ☎ 2212203